

# 愛労連

愛知県労働組合総連合

名古屋市中区新栄一丁目22-18

TEL 052-262-1377

発行人 阿部 精 六

第6号 1990年5月31日

地域センター研究集会

◇6月16日(土)午後2時~17日(日)  
◇「蒲郡荘」にて

地労委民主化連絡会議結成総会

◇6月27日(水)午後6時  
◇「婦人会館」にて

90春闘

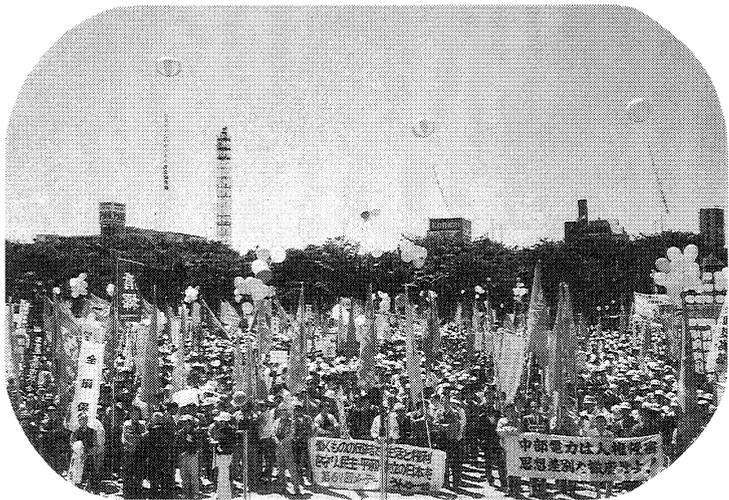
## たたかい「連合愛知」を大きく上まわる 賃上げ

### 闘うメーデーに連帯の拡がり色濃く



90春闘

写真は、親会社の住友軽金属門前で38年ぶりに組合旗を立て抗議集会を開く全港湾スミケイ運輸分会（5月22日）



第61回メーデー

（要求をかけた、県集会の白川公園に15,000人の労働者や市民が集った）

# 組織拡大に全力を

## 各単産や地域でとりくみ強化

県春闘共闘委員会を結成し（愛労連と90春闘懇で構成）九〇春闘は、ストライキやデモ、集会など職場・地域で力一杯闘いました。闘いを反映して、連合愛知より二、〇〇〇円近くも平均回答は上まりました。メーデーは官公労が休日でないという条件を乗り越え、一万五千人もが集まりました。困難な条件を乗り越え、がんばった各地域のメーデーも大成功。春闘やメーデーを通じ、職場で組合への信頼は高まり、幅広い仲間の結集と連帯は強まりました。——さあ次は「組織拡大」。春闘やメーデーの成果を組織拡大に生かそうと、各単産も地域も全力投球です！

## 全港湾・私教連などで組合結成

### 年金者組合は10ヶ月で五四七名増やす

全港湾では、スミケイ運輸（組合員一〇名）、協和陸運（組合員一九名）に組合結成をした。スミケイ運輸分会は、九〇春闘で親会社の住友軽金属門前に三十八年ぶりの赤旗（全港湾旗）を立て、住友軽金属と同額の賃上げを実現させた。私教連では、四月二十五日尾関学園で組合結成、学校運営正常化などを求めての要求を提出、社会的な反響は大きくマスコミも一斉に報道した。尾関高教職員の結成をはじめ新入教職員の大割組織化を達成し、五月十二日には四〇〇名が参集する大盛況の「歓迎集会」を開催した。今後は「少数組合会議」で、教訓交流をしながら非常勤や旧職員の拡大に力を注ぎ陣地の強化をめざす。（細井書記次長）

### 「歓迎会」で加入進む（医労連）

医労連は、中京、刈谷、全労済旭、愛医労佐野などの各病院で四月、五月に新入職員を対象にした「歓迎ボーリング大会」や「組合を知る会」などを開催、多くの組合員を増やした。

### 建設一般、きず

### な、全日本金属 全国一般では…

建設一般では、建設労働者だけでなく、学童保育やパートにも精力的な目を向けていく。高齢者にも「雇用保障」と結びつけ組合員の拡大を図りたい。（伊藤副委員長）  
きずなどは、六月末の結成九周年を控え組合員の二割増をめざし取り組みが進められている。  
全日本金属は五月三十一

日、全国一般も六月に組織拡大対策会議を行い、未組織の組織化、分裂少数組合での拡大、中立組合の加盟促進などに全力投球する。

### 愛高教、自治労

### も取り組み強化

他方、自治労、愛高教などの官公労も取り組みを強化。

愛高教では「教育の危機を打開するためには愛高教を大きくしなければ、県民の期待にこえられない」（三井書記長）と、新任教師を対象の中心に拡大を進め、順調な成果をあげている。

全労連・自治労愛知では「四月に未組織の市町村職員を対象に個人加盟方式の「愛知自治体一般労組」を結成した。労組のない市町村も含めた県下全体の自治体労働者と地域住民を視野にいたった運動を広げてゆきたい。名古屋市職労など第二組合を抱えた単組では、四・一二ストを中心とした

九〇春闘でまともな組合への信頼は一層高まったので組織拡大にむすびつける。（小寺書記長）

### 婦人協は活動開始

### 青年協結成まじか

四月七日結成された愛労連婦人協も、婦人が働き続けられる職場環境づくりをめざしたい。そのため看護休暇と育児休暇の実現へに全力をあげます。（三井議長）と意欲的なスタート。青年も「スクラムフェスタ（メーデー前夜祭）」の成功で自信を得た。六月三十日に愛労連青年協を結成したい。（滝沢愛労連青年協結成準備委員会代表委員）とファイト満々。



（愛労連婦人協結成大会（4月7日「婦人会館」））

たたかひの差 90春闘  
1,735円 0.55%

☆ 県春闘共闘委員会211組合回答平均  
14,150円 6.41% (5月28日現在)

☆ 連合愛知467組合回答平均  
12,415円 5.86% (4月25日発表)

県春闘共闘妥結184組合回答平均  
14,551円 6.32%

# 1,047名の首切り許さず

## 国鉄闘争「自らの課題」といとりむ

3億(1800円)

15万人(150名)

### 就業中に拍手、大きな反響

#### 全職場(二五〇ヶ所)で逆オルグ受け入れ

「コーヒーカンパ」を訴える (名古屋(職労)のとりくみ) 二宅書記長に聞く

全労連臨時大会の決定を踏まえ、愛労連は五月十九日の第二回評議委員会で、国鉄闘争支援に「組織の総力をあげて全力投球する」(井上議長)ことを決めた。方針の柱として一人五名の署名(全国的に二千万署名)と延べ三回、計三〇〇〇円のカンパ、毎月一日の国鉄闘争デーのとりくみなどを決定。他方、全動労と国労は北海道、九州からオルグ団を愛知に派遣、五月二十一日から統一して逆オルグに入っている。とりわけ全労連・自治労愛知は各単産の先頭をきって、五月二十一日より六月一日まで連日三班から四班の逆オルグを全職場に受け入れている。国鉄闘争について、名古屋市長に取材した。あわせて全港湾名古屋支部・渡辺委員長に国鉄闘争への思いを語ってもらった。また解雇された全動労(北海道)、国労(九州)オルグ団の二名に怒りの声を聞いた。



名古屋市長 三宅書記長

国鉄闘争は、労働組合の真価が問われる課題です。名古屋市長は、国鉄闘争を「支援」ではなく、「自らの課題」として取り組むことを決定しました。

こんな理不尽なことが許されるなら、労働者や労働組合の権利は死語になってしまいます。国鉄闘争への取り組みを通じ、労働組合

自治労名古屋ブロック(名古屋市長・名水労・名古屋港管理組合職員労働組合・名古屋市学校事務職員労働組合)では、五月二十一日から六月一日まで全



名古屋市役所の各職場で訴える国労(九州)、全動労(北海道)オルグ団(写真は下水道施設課にて。右側は同行する名水労役員)

とは何か?」を職場で考え合いたい。

一、〇四七名の国鉄労働者首切りの撤回は、組合の所属を超え、労働者なら誰でも受け入れる課題だと思

います。自治労名古屋(第二組合)の組合員が多いところも含めて、名古屋市長の労働者全体に訴えてゆきます。

職場へ国労・全動労の逆オルグが入っています。各区域所や水道業務所を含めて、二五〇ヶ所前後になる

でしよう。機関会議だけで、労働者から実態を訴えています。

訴えが終わると「職場から拍手がわく」など、通常

重要だと思えます。

### 愛知から闘いの火を

全港湾労組名古屋支部執行委員長 渡辺三千夫



全港湾渡辺委員長

価値が問われる「国鉄闘争に一切の支援を放棄した。のみならず、連合加盟組合のJR総連は首切り推進の立場をとっている。

まさに、資本と権力と連合幹部の三位一体の攻撃である。闘う全労連・愛労連の任務はまた明白である。

この闘いの構えは、長期を展望しつつ、しかし、闘いは短期に全力をあげる必要ではないか。

### 国鉄闘争への愛労連方針(柱)

- ① 三億円カンパ。一〇一〇〇円、六月、九月、十二月の三回。計三〇〇〇円。
- ② 一千万人署名(一人五名)。第一次集約六月三十日
- ③ 毎月一日の国鉄闘争デーへの取り組み
- ④ 各職場でのオルグ受け入れ(愛労連に申込みの事)

### 解雇された全動労(北海道)、国労(九州)愛知入りオルグ団の怒りの声

今まで組合役員になったことは一度もなく、人前で話すのは始めてで、愛知へ来て足が震えた。国鉄清算事業団や政府のやったことは、筋が通らなく、怒りで一杯だ。国労と全動労が一体で取り組めるよう一歩も二歩も障害を乗り越え取り組んでいる愛労連は、素晴

らしいと感謝している。闘う以外にありません(全動労北海道滝川・高橋敏昭さん。四八歳)。

では見られない光景がこちらで見られ、反響はとて大きいです。

カンパ袋をおろして、「コーヒーカンパ」と名をうち三〇〇〇円のカンパを決

定、名古屋市長以外の労働者にも呼びかけています。署名や物資販売などにも精力的に取り組んで行きたいと思えます。

私達が真剣に国鉄闘争に取り組むなかで、地方から中央へ「国労・全動労の完全統一した闘争体制」をつくりあげることがとても重要だと思えます。

打撃を与える運動をまきおこしてこよう。

そして、その闘いを遠原火の如く燃え上がらせるなら、勝利の展望は切り開かれるであろう。

愛知の労働者よ。共に奮闘しようではありませんか。

### 解雇通告者

国 労	965名
全 動 労	64名
千葉勤労	9名
その他	9名
合 計	1,047名

### 大企業労働者がシンポ



15名が発言(第2回評議委員会)

五月二十六日(土)、愛知産業貿易館で「連合職場からたたかいたいの共同を求めるシンポジウム」が、愛労連、職自連、中電人権争議愛知支援共闘会議の共催で開かれた。参加者は八〇名。新日

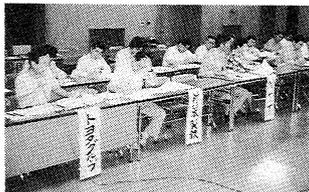
### 活発な議論 秋までの方針も決定

第二回愛労連評議委員会 五月十九日(土)、名古屋市勤労婦人センターで第二回愛労連評議委員会が開かれ、愛労連結成以来六カ月間の活動を振り返り、秋までの運動を議論しあった。

延べ十五名の評議員から、九〇春闘、組織拡大、国鉄闘争などを中心に生々しい闘いの報告や組織拡大への決意……さらには運動の弱点への掘り下げや愛労連への要望など、率直で活発に意見、要望が出された。

国鉄闘争や組織の拡大・強化、平和闘争などを柱とする「当面する闘争方針」など提案議案や報告事項を全員一致で採択した。

### 地労委裁判



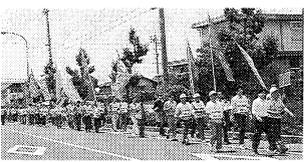
大企業職場に自由を(連合職場シンポ)

第一回公判始まる



知事は地労委の委員選任をやり直せ(5月30日、地裁前にて)

ナトコペイントは六名を職場に戻せ



三好町を300人がデモ(ナトコ解雇撤回支援、5月20日)

平和行進愛知入り 6月5日(火)〜16日(土)

